



特産のそば



間伐の様子



人工林の杉林



高冷地野菜のキャベツ



トルコギキョウの栽培

【林業の振興対策】
 多様な森林施業をより効率的かつ低コストで行うために森林環境譲与税等を活用し、林道・作業道等をはじめとした生産基盤を整備するとともに、森林の有する公益的機能の増進のため複層林・長伐期施業を推進し、本地区特有の自然条件を背景に活力ある森林づくりを目標として振興を図っていきます。

農林業の多面的機能
を有する阿蘇

農林業を営むことで、国土の保全、九州の水源涵養、圃場の治水機能、自然環境の保全、良好な景観の形成が図られ、災害に強い環境が整います。

また、先人の貴重な技術や食文化の伝承、地産地消による学校の食育活動や農福連携など、多面的な機能が発揮され、私たちの生活に大切な役割を持っています。



トマト（夏秋）



いちご



アスパラガス

地域の特性を活かした
阿蘇ならではの農業

阿蘇市は、比較的平坦な地域とそれを取り巻く山間地域で形成され、それぞれ地域の特性を活かした営農形態の中で農業経営が行われています。
 比較的地平な地域では、水稲をはじめ、麦・そば・大豆の土地利用型農業と畜産が中心で、トマトやアスパラガス、イチゴなどの施設園芸も盛んです。畑作物が中心の山間地域では、高冷地野菜・そば・花きなどが盛んで、中でもキャベツは九州有数の生産地です。

【農業振興対策】
 高齢化や担い手不足が深刻になっている中で、スマート農業等の新技術の活用により作業の効率化・省力化を推進し、限られた地域の担い手による農地の維持と同時に経営基盤の強化を図り安定した経営のできる農業の政策を展開します。
 また、新規就農者の技術取得のための研修や就農後のサポートを関係機関と連携して実施し、確実な就農、後継者の確保に取り組んでいます。

元気のある農業で継続性のある農村を目指して

農産物ブランド化と
地域農業の再生を図る。

【畜産の振興対策】
 阿蘇の広大な草原の維持や環境改善に畜産は重要な役割を担っています。
 草原を利用した周年放牧などの推進、効率的で生産性の高い畜産経営体の育成により自然資源の維持が図られます。
 また、耕種の水田作物と畜産の堆肥を提供する耕畜連携の強化を含めた有機資源循環の推進により自然環境の改善を図っています。
 このように水田と草原を利用した畜産経営の効率的な安定化の強化に取り組んでいます。



無人田植え期の実演



ドローンによる防除



実りの秋の稲刈り作業

春



夏



秋



冬



季節ごとの阿蘇の田園風景



農産物加工品

阿蘇市では、地域を活性化していく手段として、地元的美味しく新鮮な野菜などを使い、量産品では味わえない豊かで美味しい農産物加工品を開発・商品化してきました。
 ふるさと納税では、現在12のポータルサイトで「阿蘇たかな漬」や「あか牛」をはじめとした特産品を返礼品として出品しており、順調に認知が広がっています。今後も全国の消費者への訴求を続けます。

「阿蘇たかな漬」
 混ぜご飯の具としても最適で、「たかな飯」は地元料理の定番となっています。



波野高原そばで作ったそば商品



あか牛を使った商品



農産物加工グループなどの商品